



着実な前進を目指して

小野町議会議長 大和田 昭

新年あけましておめでとございませう。

平成22年の年頭にあたり、小野町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民のみなさまには、輝かしい希望に満ちた新春をお健やかに迎えることと、心からお慶び申し上げます。

また、日ごろより、議会運営に対する温かいご理解と、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、中央政府の「政権の交代」が大きくクローズアップされた一年だったと存じます。自由民主党中心の政権から民主党中心への政権へとなり、国民の方々の関心が政治や政府の動向等に集まり、国と地方のかわりについても、あらためて考えさせられた年だったと思います。また、少子高齢化や社会保障などがもたらす諸問題、地球環境問題や地域間紛争、さらには、混乱する時代を反映するかのごとく、凶悪犯罪や胸が痛む事件が数多く起こった一年でありました。さらに、経済面を見ますと、一昨年の金融不安やドバイショックなどの影響により、ますます地方経済や私たちの生活に直接影響がおよび、一段と厳しい一年でありました。

このような中、小野町では町の将来像を「きらく人と自然 あったか小野町」と掲げ「第四次小野町振興計画」を策定し、未来に向かい、着実に前進できるよう、積極的に町づくりを進めております。ふるさとの環境を育んでいる、国民の財産とも言える農地を守り育て、豊かな地域資源を次世代に引き継ぐことは重要な役割

であり、農山村を整備し里山をつくり、地球環境を守り国土を保全することは、現在を生きる私たちの使命と感じております。また、交流人口や定住人口を増加させ町の活性化を目指すための二地域居住事業の推進、情報格差是正のための光ファイバー網の整備や携帯電話用アンテナの増設、未来を担う児童・生徒のための小・中学校の教育環境の整備も重要な施策と考えております。

このほか、町政の取り組む課題も、少子高齢化策をはじめとして、景気浮揚策、企業誘致をはじめとする雇用対策、行財政の改革、教育や福祉・医療の改革、生活関連施設や生活道路整備、右支夏井川や下水処理計画、社会資本の整備など多岐にわたっております。

議会といたしましても、このような課題を見据え、町民のみなさまがより一層快適に居住し、働き、憩うことができ「誰もが来たくなる、住んでみたくなる小野町」の実現を目指し、町執行部と互いに知恵を出し合いながら、全力で取り組んでまいります。また、町民のみなさまの負託にこたえ、活発な議論を通じて切磋琢磨し、開かれた議会運営を心がけ、議決機関としての小野町議会の責務を着実に果たしてまいります。

最後に、本年の干支寅のように勢いのよい、明るく希望の持てる年となるようご期待を申し上げますとともに、町民のみなさまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。